



厚生労働省北海道労働局発表
平成28年5月20日

【担当】

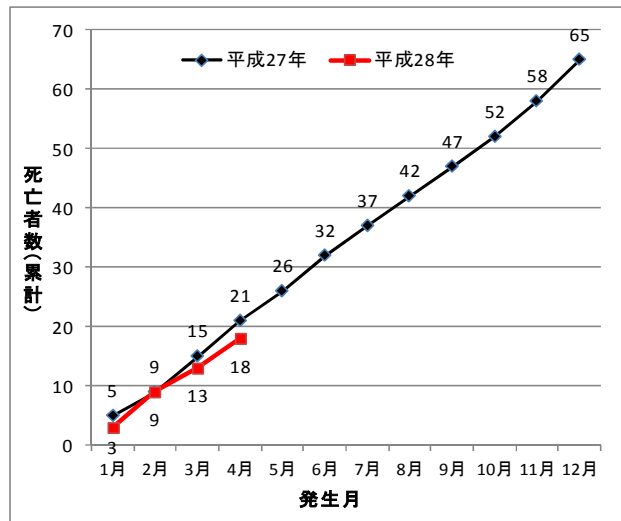
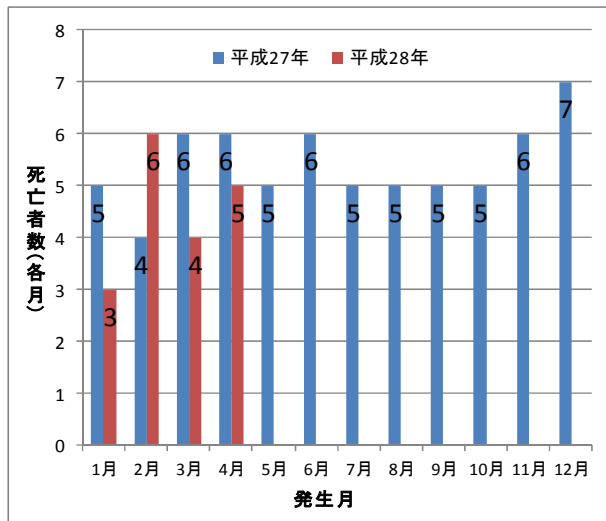
北海道労働局労働基準部安全課
課長 工藤 英司
安全専門官 渡邊 哲也
電話：011-709-2311（内3557）
FAX：011-756-0056

死亡労働災害は前年同期比3人減少
死傷労働災害は前年同期比2.5%減少

－ 平成28年の北海道内の労働災害発生状況（平成28年4月末現在速報値） －

1 労働災害による死亡者数（1月～4月）

平成28年の道内の労働災害による死亡者数は、平成28年4月末現在で18人と、前年と比べ3人の減少となっています。



（1）業種別の状況【資料1、2】

業種別に見ると、「建設業」が7人（全体の38.9%、前年同期比1人減）、
「製造業」が4人（全体の22.2%、前年同期比2人増）、
「陸上貨物運送事業」が2人（全体の11.1%、前年同期比1人増）、
「林業」が2人（全体の11.1%、前年同期同数）となっています。

（2）事故の型別の状況【資料3】

災害を事故の型別で見ると、「墜落・転落」が4人（全体の22.2%）、
「激突され」が4人（全体の22.2%）、
「交通事故」が4人（全体の22.2%）
「はさまれ・巻き込まれ」が3人（全体の16.7%）、
「崩壊・倒壊」が2人（全体の11.1%）となっています。

2 労働災害による死傷者数（1月～4月）

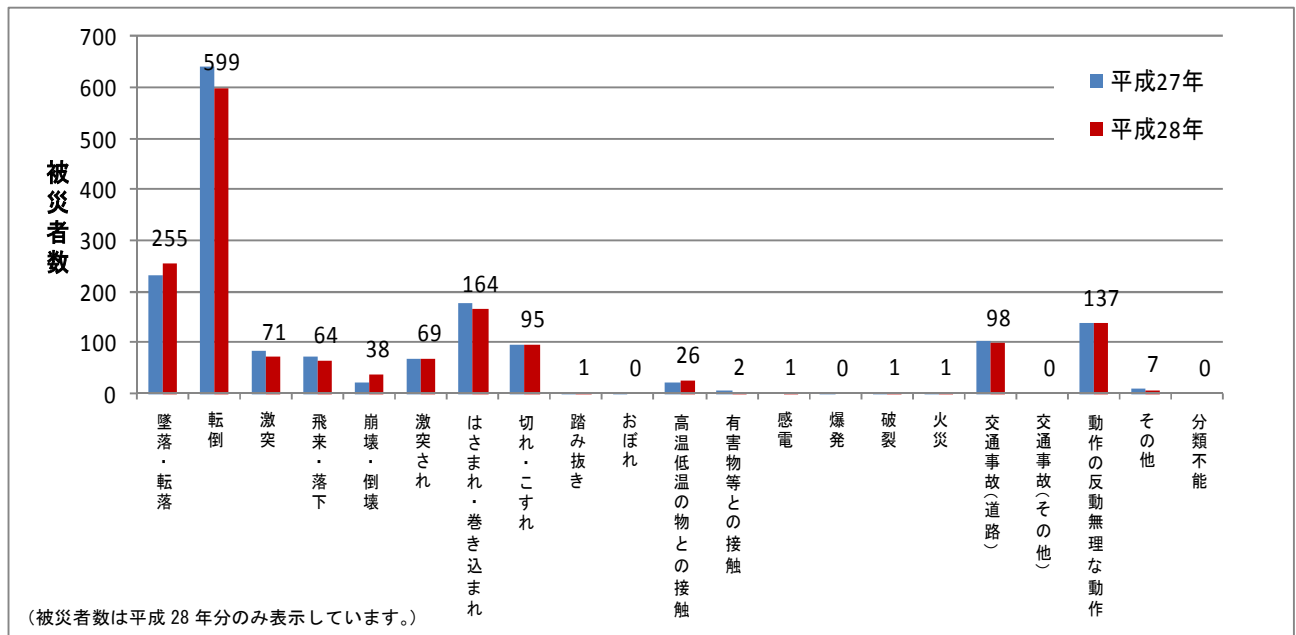
平成28年の道内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、平成28年4月末現在で1,629人と、前年同期比42人減（2.5%減）となっています。

（1）業種別の状況【資料4、5】

業種別に見ると、「製造業」が311人（全体の19.1%、前年同期比4人増）と最も多く、次いで「商業」が263人（全体の16.1%、前年同期比29人減）、「陸上貨物運送事業」（道路貨物運送業及び陸上貨物取扱業）が219人（全体の13.4%、前年同期比3人減）、「建設業」が183人（全体の11.2%、前年同期比6人減）の順となっています。

（2）事故の型別の状況【資料6】

災害を事故の型別で見ると、「転倒」が599人（全体の36.8%）と最も多く、次いで「墜落・転落」が255人（全体の15.7%）、「はさまれ、巻き込まれ」が164人（全体の10.1%）、「動作の反動・無理な動作」が137人（全体の8.4%）、「交通事故（道路）」が98人（全体の6.0%）、「切れ、こすれ」が95人（全体の5.8%）となっています。



3 北海道労働局の対応

(1) 北海道労働局では、第89回全国安全週間準備月間（6月1日～6月30日）及び本週間（7月1日～7月7日）を迎えるにあたり、関係労働災害防止団体等と連携し、死亡災害の撲滅及び死傷災害の減少に向けて、事業場の積極的な自主的労働災害防止活動の取組みを要請します。

平成28年度の安全週間スローガン

「見えますか？ あなたのまわりの 見えない危険 みんなで見つける 安全管理」

7月の本週間中には、安全衛生活動が特に優秀である事業場や長年にわたり地域の安全衛生水準の向上発展に貢献した個人に対し表彰を行うこととしています。

(2) 今後、暑い季節を迎えるに当たり、職場における熱中症防止対策の啓発を推進します。

【添付資料】

- 1 平成28年における死亡災害発生状況[速報]
- 2 平成28年における死亡災害発生状況（その他の事業の内訳）
- 3 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死亡災害発生状況
- 4 業種別労働災害発生状況
- 5 署別・業種別災害発生状況
- 6 平成28年 業種別・事故の型別・起因物別死傷災害発生状況
- 7 死亡労働災害の概要（前月把握分）